

PREX NOW



世界と関西をつなぐ VOL.270

特集:留学生×PREX研修



イノベーションが
刺激的だった!

今まで経験した中で
最高の
フィールドトリップ。

立命館大学 経済学研究科 博士課程 (前期)
留学生向け夏期研修に参加した留学生の皆さん。
日立造船株式会社の製造現場を視察。

実学の道標。

留学生×PREX 日本で学ぶ外国人留学生向け研修レポート



教室では体験できない



- ◆ 経営者と直接話せる企業訪問
- ◆ 日本の行政機関を訪問
- ◆ 日本の歴史や文化を体験

PREXでは、途上国の人材を対象とした研修を実施してきた経験を活かし、大学などの委託を受けて、日本で学ぶ外国人留学生を対象とした研修プログラムを提供しています。テーマに応じ、研修のプログラム開発から訪問先のアレンジ、実施までを一貫して対応することが可能です。民間団体としての柔軟性を生かし、多様な訪問先や講師の協力を得て実施しています。

研修に参加する留学生は、本国では行政機関、金融機関、NGO、民間企業等に勤務し、日本の中小企業支援に対する政策や取組等に強い関心を持っている皆さんです。研修プログラムでの気づきや学びを、自国での業務に活かしてもらえると考えています。

また、「研修を通じて訪問した自治体や企業との具体的な連携について母国関係者につなぎたい」という留学生の声もあります。研修を通じて、留学生の国と日本・関西の行政や経済界との事業連携などの具体化につながることを期待しています。



日本の現場を知る。



日本で学ぶ外国人留学生を対象とした研修プログラム

■留学生対象の研修プログラムの事例

①日本企業理解プログラム (2015年度～継続中*2020年度はコロナの影響で中止)

立命館大学博士課程(前期)に留学中の学生が、大学での研究に加えて、日本の中小企業振興について理解を深めたいという要望を受けて実施しています。

参加者は、本国では行政機関、金融機関、NGO、民間企業等に勤務しており、日本の中小企業支援に対する政策や取組等に強い関心を持っています。

第1回目は、ウズベキスタン国立銀行、バングラデシュ中央銀行から留学中の学生5名が参加。これまでに、7回の実施で、世界各国からの110名の留学生が参加しました。

②地域活性化の取り組みを知るフィールドツアー (2018年度～継続中*2020年度はコロナの影響で中止)

立命館大学国際関係研究科でProfessional Trainingの講座を受講している修士学生を対象に、地方行政とその地域の民間企業による「地域活性化」の取り組みをテーマに綾部市にて1泊2日のフィールドツアーを実施しています。これまでに、3回の実施で、世界各国からの71名の留学生が参加しました。

■参加した留学生の声

◎自分の専攻と関係の深い、日本の銀行、財務省などの取り組みについて学ぶことができました。

将来、私たちの国の職場に役立つことを学べるプログラムだったと満足しています。

◎体系的なプログラムのおかげで、行政としての、スタートアップ企業支援を通じた産業振興への取り組みがよく理解できました。また、スタートアップ企業をサポートすることで、社会へもたらされるイノベーションのインパクトに大きな可能性を感じました。

■導入講義:中小企業の重要性



研修初日にはオリエンテーションおよび導入講義を行います。講義の中では、①日本経済の概要・戦後発展の歴史について②日本における中小企業振興について③カイゼン活動について学びます。ここでの講義は、午後からの企業訪問の内容理解につながります。これから約1週間学びをともにする参加メンバー同士の自己紹介も行い、コミュニケーションをとりながら学ぶことができます。基本的な講義言語は英語ですが、場合によっては通訳を手配します。

■安全体感道場(パナソニック株式会社 くらしアプライアンス社)



この日は大学に集合し、バスでパナソニック株式会社くらしアプライアンス社 安全体感道場を訪問しました。「労働者の安全を第一に」。とても大切なことで、日本ではどの企業でも当たり前のように、労働者の働く環境を第一に考えて現場の整備がされていますが、参加留学生らの国では安全の概念・労働者への意識が十分ではありません。実際の社員教育で使用される設備を体感し、身をもって怖い・危険だと感じ、安全の重要性を深く理解することができる貴重な訪問先でした。

■大企業ができるまでの歴史を学ぶ(島津製作所 創業記念資料館)



約150年前は、
小さな企業でした。

どうやって事業を
拡大して大企業に
なったんだろう？

この日は、公共交通機関を利用して、各自で訪問先である島津製作所 創業記念資料館へ向かいました。日本企業の大きな特徴の一つは、やはり長寿企業。長寿企業がいかんにして、現在の地位を築いたか、時代の転換点とどう向き合ってきたか、長寿企業の歴史を企業ミュージアムの展示品やガイドの方のお話から学びます。約150年前の製品の展示に、参加した留学生からは興味津々です。通訳ははさまず、英語で直接説明いただくことができました。

■日本企業の経営の特徴(経営理念、品質管理、5S・カイゼン)(株式会社美十)



徹底して工夫と改善を
繰り返してるなんて
すごいな…。

日本企業の特徴の一つに経営理念があります。また、安全基準・品質管理の高さは世界の中でもトップクラスです。実際の製造現場を視察することで、安全衛生意識の高さ・品質管理の厳格さを学ぶことができます。また、5S/カイゼンの実例も学ぶことができます。写真は京都で有名な「おたべ」や「京ばあむ」を製造している企業 株式会社美十を訪れているところです。一人ひとりお土産に「おたべ」を含む詰め合わせをいただきました。(国際交流部 狭間)

行政の役割と民間の取り組みと産業振興をテーマに



2022年3月、株式会社日本開発サービスが実施代理を務める「JICA人材育成奨学計画(JDS:The Project for Human Resource Development Scholarship)」のガーナとネパールの留学生を対象に、それぞれの専門分野や関心事項に応えるため、2つのオンライン研修プログラムを提供。大阪編では、『大阪における社会課題への対応(行政の役割と民間の取組み)』をテーマとする、1.5日の研修を実施し、神戸編は、『産業振興:スタートアップ企業の支援』をテーマに1日間のプログラムを実施しました。

大阪編 “環境(低・脱炭素等)”への取組(大阪府、大阪ガス)



カーボンニュートラルの実現に向けた様々なコミットメントに対して、大変関心を持ちました。

公益のために行政の役割や民間エネルギー供給事業者との連携の重要性を感じました。

民間事業者による絶え間ないイノベーションが国のインフラ開発に貢献していることがわかりました。

行政に期待されること、できることは何か？
目指すべき国の未来を考えるきっかけになりました。

受講者の留学生は、社会課題の一つである“環境(低・脱炭素等)”について行政(大阪府)の役割(公共政策の立案と実施、指導等)と、行政との連携を含む低・脱炭素への民間企業の取組み、などを理解した上で、留学生の自国での環境取組、産業振興等について、自らのアクションプランを考察することを目指しました。大阪ガス株式会社からは、実際の施設をオンラインのライブ中継で見学する機会を設定いただき、講義と合わせてガスエネルギーの日本での状況やエネルギー供給者の工夫や努力への理解を深めることができました。

■大阪編 経営哲学を含む環境への取組(パナソニック ホールディングス)

The screenshot shows a Zoom meeting. On the left, a presentation slide titled "History and Management Philosophy" is displayed. The slide content includes:

- Our Founder's Management Philosophy and View Toward the Environment**
- Management Philosophy**
We will devote ourselves to the development of society and people through our business activities.
- View Toward the Environment**
A company is a public entity. It would be like putting the cart before the horse for industrial development, destroying nature and take away people's happiness.

A speech bubble from a participant says: "環境対策は企業の社会的責任のひとつ。" (Environmental measures are one of the social responsibilities of a company.)

On the right, the Zoom interface shows several participants: PREX_Maeda(前田), PREX_Taketani..., PREX_Taketani/武谷, PREX_Ogawa/小河, and PREX_Kojima.

パナソニック ホールディングス株式会社からは、一企業の環境課題への取組みのみならず、COP(国連気候変動枠組条約締約国会議)など行政(政府)の取組みへの民間企業の連携・支援活動についての具体的事例を含む講義を受ける中、松下幸之助創業者の経営哲学を含む環境への取組みの説明もあり、環境活動のみならず経営哲学の大切さに感銘を受けた留学生もいました。

■神戸編 スタートアップ企業の支援(神戸市、UNOPS、企業)

The screenshot shows a Zoom meeting. On the left, a video call with a participant is visible. On the right, a presentation slide is shown with the following text:

- UNOPSも神戸市と連携し、スタートアップを支援しています。**

A speech bubble from a participant says: "スタートアップ企業をどうサポートし成長させていくのかを、実例をもとに話されていてとても分かりやすかったです。" (How to support and grow startups, it was very easy to understand with actual examples.)

神戸編は、『産業振興(スタートアップ企業の支援)』をテーマに1日の研修を実施。午前中はスタートアップ支援に力を入れている神戸市 医療・新産業本部より、行政がどのような政策や支援を実施し、スタートアップを通じた産業振興を促しているのかについて講義いただきました。午後からは、神戸市と連携し実際のスタートアップ支援事業を担う、国連プロジェクトサービス機関 UNOPS(United Nations Office for Project Services)より、実施機関としての役割や具体的な活動をお話いただきました。

また、実際に神戸市とUNOPSのサポートを受けて事業に取り組むスタートアップ2社(Sagri 株式会社、KIVU Cold Group)より、事業の紹介と、支援を受けたことで広がったビジネスの可能性や、事業の拡大に繋がった要因など、資金面のみならず、情報の提供やビジネスの機会となるイベントへの紹介のお話をいただきました。

(国際交流部 小河)

PREXでは日本で学ぶ海外からの留学生の皆さんに、教室では学べない日本の「今」を肌で感じてもらう研修プログラムを実施しています。本号をご覧になってご興味・ご関心を持たれた方は、お気軽にご連絡ください。

PREXへのお問い合わせやご意見、「PREX NOW」への意見・感想をお待ちしています。
E-mail: prexhrd-pr@prex-hrd.or.jp

留学生向け研修プログラム、相談受付中。



PREXは、留学生のチカラになりたい。

日本で学ぶ外国人留学生は、約24万人。新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、2019年時点の31万人からは減少していますが、近畿7府県には、全国の2割の留学生が生活しています。留学生受け入れのトップ10に入る立命館大学、京都大学、大阪大学には、2,400から2,700人の留学生が在籍しています。*（独）日本学生支援機構「外国人留学生の在籍状況に関する調査」より。PREXは、日本で学ぶ外国人留学生向けの研修プログラムの企画から実施まで対応可能です。

●ご相談・お問い合わせは PREX新規事業チームへ（武谷、小河、尾崎、佐賀、前田智、児島）

PREX×アイハウス コラボ企画 外国人の社員&企業担当者 一緒にittoco(いっとこ)



- 日時:12月8日(木) 18:30~20:00 参加費無料
- 会場:クリエイション・コア東大阪 南館2F セミナールーム
- 対象:製造中小企業の外国人社員と所属企業の上司・担当者 計20名
(外国人社員と所属企業の上司や担当者のペアでご参加ください) ※「外国人」とは外国にルーツを持つ人も含みます。
- 言語:日本語での実施
- 参加費:無料
- 申込方法:<http://forms.office.com/r/PxDK78A0qH>
- 主催:PREX、公益財団法人 大阪国際交流センター
- 協力:ものづくりビジネスセンター大阪(MOBIO)

大阪アフリカビジネス フォーラムで表彰!



10月20日、当財団の前田(智)職員が、大阪アフリカビジネスフォーラムにおいて、アフリカとの交流分野での活躍が認められ表彰されました。(於:東大阪市文化創造館)

前田職員は、青年海外協力隊として西アフリカに位置するセネガルに3年間滞在し、アフリカ54カ国中10カ国に訪問した経験があります。

PREXのウェブサイトでもアフリカに関するコラムを掲載中です。ぜひご覧ください。

出会う・学ぶ・楽しむ 1day上本町SDGs大学



- 日時:2023年2月25日(土)12:30-16:30
- 会場:クレオ大阪中央館・4階
- テーマ:難民・食品ロス・SDGs市民チャレンジ
- 定員:各回20-30名程度

PREX NOW第270号(2022年12月発行)
編集・発行:公益財団法人 太平洋人材交流センター
専務理事:岡本 謙
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6
大阪国際交流センター2階 TEL.06-6779-2850
ウェブサイト:<https://www.prex-hrd.or.jp>
E-mail:prexhrd-pr@prex-hrd.or.jp
企画制作:ユナイテッド・トゥモロー